

千葉県センターニュース

2011年3月28日発行 N03

東日本大震災で被害にあわれた皆様に、心よりのお見舞いを申し上げます。

未曾有の災害にご家族やご親戚、お友達をご心配されている方も多いことと思います。日常生活ができず、身近な所でも特に若いお母さん達に不安やストレスを募らせることが多く、家に子どもと引きこもっているという話も聞こえてきます。こんな時こそいっぱいおしゃべりできる機会が必要ですね。穏やかな日常生活を一日でも早く取り戻せるよう祈るばかりです。

計画停電が続いていますが、千葉県センターは第1グループです。諸連絡や確認の電話もつながりにくい状況です。総会に向けて慌ただしい中で災害の影響も多く出ていますが、私達ができることを一歩ずつ進めていきたいですね。

災害の影響による鑑賞活動のお知らせ

- 3月12日(土) 佐倉「なんかよーかい」
会場が避難場所になり使用できなくなったため
延期
- 3月19日(土) 八千代「もうひとつの音楽室」
会場閉館のため 延期
- 3月19日(土) 行徳「アフリカンエクスプレス」
11月6日に延期
- 3月20日(日) 船橋「おまえうまそうだな」
6月25日に延期
- 3月21日(月) 千葉北「おまえうまそうだな」
7月2日に延期
- 4月3日(日) 行徳「めおと楽団ジキジキ」
実施予定
- 4月16日(土) 市川北「グレゴの音楽一座」
予定どおり実施
- 4月17日(日) 八千代「TAP DO！」
計画停電時間を避け、開演時間を早めて実施
- 4月23日(土) 船橋「パイレーツオブ花山田小学校」
ホール音響照明設備に地震による修理工事が
必要となり、9月10日に延期。

延期になった作品の日程の再調整が少しずつ決まってきました。実施に関することに支障が発生した場合は千葉県センターに集中し、千葉県センターと連絡を取り合って進めます。

何かと不便になりますが連絡をとりながら進めていきたいと思っております。浦安子ども劇場は地震の被災を受け活動を一時休止しています。

チャイルドラインちば

東日本大震災の影響で、14日～19日までチャイルドラインをお休みにしましたが、千葉、野田、ヤングラインを22日より再開しました。

交通事情、停電や余震などまだまだ不安材料もありますが、子どもの心の居場所としてのラインを実施していきます。

5月5日～17日

「子どもの日全国キャンペーン」 中止

ママパラインちば

通常通り毎週金曜日 13:00～16:00 開設しています。



子ども劇場首都圏の活動について

首都圏ツアー「思い出のブライTONビーチ」文学座

5月13日(金)がお勧め。19:00

北とぴあ さくらホール

子ども劇場会員のりいれ： 2,200円

ご希望の方は県センター事務局までご連絡ください。

トライシアター「にんじん」は地震の影響で中止となりました。

出会いのフォーラム 2011

「はじめてのおしばい」

オリンピック青少年センター

10周年記念イベント7/21(木)～22(金)



被災地の子ども笑顔のために、義援金・活動支援金・街頭募金活動等のお願いです

緊急の行動として

子どもNPO・子ども劇場全国センターより提案いたします

子ども劇場全国センター「子ども家庭支援」

全国ネットワークに登録して下さい

アドレス kodomoshien@kodomo-npo.org

・団体が登録して、メーリングリストで情報交換しながらの長期的なネットワークをめざしています。

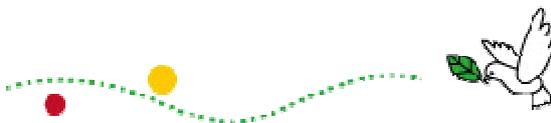
被災地への義援金ならびに活動支援金を目的とした寄附(募金)を募ります

郵便振替:00100 - 0 - 34950

子どもNPO・子ども劇場全国センター

なお通信欄に、必ず「被災支援」と明記し「団体名・電話番号・メールアドレス」を書いてください。また、振り込み後、kodomoshien@kodomo-npo.org に、金額と、同内容を連絡してください。

団体・個人毎に募金を集めていただき、募金は郵便振替口座に振り込みます。または、団体毎にプールしておき、子どもたちに向けて具体的な行動が始まる時に振り込みます。(どちらの方法をとるかは団体・個人で判断してください)
(詳細な提案文をメールにて配信済です)



ちばNPO協議会とともにとりくむ 街頭募金活動

- ・震災から1ヶ月たった4月11日(月) 14:00~16:00 JR千葉駅前街頭募金を行います。参加できる方は千葉県センターまで、参加者名をご連絡ください。
- ・寄付先は、「被災者をNPOとつないで支える合同プロジェクト」つなプロ！。

長期化が予想される避難生活を支えるため、妊産婦、軽度の要介護者、外国人、障害者、病気の人の支援など様々な専門性をもつNPOと被災者をつないで支えよう」とするとりくみです。

(詳細な提案文をメールにて配信済です)

子ども劇場おやこ劇場全国フォーラムから 募金の呼びかけ

被災した子どもたちが無事であって欲しい。そしてその笑顔を取り戻したい。

子ども文化のために地域で活動してきた私たち「子ども劇場・おやこ劇場」は、その責務として、未来ある被災地の子どものために緊急に全国的な募金を呼びかけます。

被災地の子どもの直接支援

東日本大震災子ども救援緊急募金

郵便振替 00190 3 760395

子ども劇場企画実行委員会

通信欄に「ボキン」と必ず記載ください

4月30日までを「被災地の子どもの直接支援金(義援金)」とし、日本赤十字社に送金します。それ以降についての募金は、あらためて呼びかけていきます。

子どもの文化に関する活動支援

下記についての募金は、改めて4月30日以降呼びかけていきたいと思っています。

- ・被災した劇場(事務所が津波で流された、会員が亡くなったなど)への支援
- ・例会等、子ども劇場の上演活動の公演中止・延期にともなう様々な被害・損害への支援(現在、全国的に広がっています)
- ・これから長期にわたるであろう、被災地域の子ども心身の負担軽減に対する様々な支援活動(詳細な提案文をメールにて配信済です)

病気と向き合う子どもに笑顔を贈りましょう

子どもNPO・子ども劇場全国センター

病児に笑顔を贈る支援サイト「ホッとアートファンドプロジェクト」が立ち上がりました。団体のhpに貼り付けて広めて頂き、多くの市民からのご寄附が集まりますよう協力をお願いいたします。子ども劇場全国センターhpからもアクセスできます。

<http://hotart-present.jp/>

子ども劇場千葉県センターも、「ホッとアートプレゼント」プロジェクトに参加し、2009年に3病院、2010年に1病院で笑顔のプレゼントを実施いたしました。皆様のご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

タケダ・ウェルビーイング・プログラム 2010

「長期入院の子どもが笑顔になる生の舞台のプレゼント&プログラム開発と人材養成事業」

< 2010 助成事業が決まり、活動を開始しました >



- ・プロによるパフォーマンスの鑑賞を5病院で実施
 - ・日常生活を豊かにし、保護者や家族の気持ちを癒す参加型のワークショップを3病院で実施
 - ・実施するパフォーマンス作品とワークショッププログラムを開発
 - ・ワークショップ研究会・コーディネーター研修会を開催し、ならしの子ども劇場・(特)緑区子どもサポートセンター
- (特)四街道こどもネットワーク・(特)子どもプラザ成田・(特)こどもユニット wakaba・(特)市川子ども文化ステーションの皆さんと連携して行っています。



「ママパパライン」全国キャンペーン

全国6箇所終了

(石狩・仙台・東京・千葉・愛知・和歌山で同時開設)

日程:2011年1月31日(月)~2011年2月5日(土)
の6日間

時間:13:00~16:00

電話番号:043-204-9390

件数:千葉は4件 全国で54件

時間:通話時間135分 平均34分

1件30分平均の時間をかけ、丁寧にお聴きしました。母としての自分と子どもの関係もありますが、地域でのママ友達との緊張した関係があります。メールを通じての情報交換が、時にママたちの人間関係を壊し、寂しさや不安の元を創り出しています。厳しい就労・経済状況を反映するように、夫や姑との人間関係作りに悩み、体調を崩しているママたちの辛いギリギリの気持ちの訴えも増えています。ママパパラインの使命である『共感と傾聴』により、誰にもいえないことや胸の内を吐き出すことで、気持ちが楽になり、整理もできて、ほっと安心した気持ちを取り戻したようでした。乳幼児を持つ家庭だけでなく、小学生を持つ家庭からの電話が増えつつあり、そうした当事者にも届く広報周知の手法を今後の課題としていきます。



子どもNPOリーダー学習・交流・研究会

「ズバリ!組織の悩み解決講座」を2/22開催

(参加者:63人 17団体) 講師:粉川一郎氏

午前10時から昼食を挟み、午後4時までみっちり課題解決に向けて学習しました。今年度のまとめ、次年度の計画づくりの時期で、タイムリーに課題や展望に向けて一歩ふみだすきっかけになったのではないのでしょうか。

アンケート(回答数31名)から抜粋

印象に残ったこと

- ・みなさんの存在そのものがエクセレント(10)
(粉川さんから社会的評価をして頂けたと思い、勇気づけられた)
- ・サービスより当事者を増やす(5)
(参加者の満足度を高めることだけを求めるのではなく当事者にする発想が低かった)
- ・団体の方向性をはっきりさせる(4)
(大きくするか現状維持か小さくするかビジョンを明確にし、組織の到達点をどこに落とすか)

すぐに実践したいこと

- ・白地図、地域の資源マップを作る(11)
(地域を再確認・可視化して他団体とのネットワークをつくる)
- ・ほめあう(9)
(自分たちの活動の良い所を地域でほめあう場をつくる。)

課題と思われること

- ・新陳代謝をはかること(11)
(新しい若手の担い手を増やす。人探しもむずかしい)
- ・ビジョンの共有(5)
(理事や運営委員間の共有、モチベーションをどうあげるか)

その他 感想・ご意見

- ・とてもわかりやすくタイムリーな内容だった
- ・パーティーを開くことは考えたこともなく、刺激的だった
- ・大変明快なお話で、笑いもいっぱいあってひとつひとつやってみよう。できそうと思えることでした。背中を押してもらえました。

寄付税制改正案とNPO法改正案

【今国会では、2段階の画期的改正が】

今、NPO法人制度に関して、画期的な改正がなされようとしています。

第一段階は、寄付税制改正です。

これにより認定NPO法人の要件が大幅に緩和されることとなります。「3千円の寄付者が年平均百人以上いる」などの要件を満たささえすれば、従来より簡単に認定されることとなります。さらに、認定NPO法人等に寄付した個人に対して、税額控除制度（最大約50%）が導入されます。認定NPOに十万円寄付すると最大約5万円戻ってくる優遇措置です。

第二段階は、NPO法改正案です。

これにより法人の認定は所轄庁（都道府県等）が行うこととなります。さらに「仮認定」というスタートアップ支援の制度も盛り込まれ、また、民間主導で作られた「NPO法人会計基準」に合わせた会計処理の採用と法人名称も、「市民活動法人」へと変更も検討項目になっています。

【「崖っぷち」の2法案】

しかし、この2つの法案は、今、危機の真ただ中にあります。

第一段階の寄付税制改正は、予算関連法案全体が成立の目途がまったく立っていません。

第二段階のNPO法改正案は、流動化する国会情勢のため、成立させるのは「至難の業」です。

【でも、できることはある！】

この法案は、今のところ与野党とも反対はありません。足りないのは「推進力」なのです。NPOや世論の声が大きくなれば、優先順位が上がります。私たちの声で、「今国会でなんとしても成立させなければ」と、議員に強く思ってもらえればいいのです。国会審議で、そのような協議を行う期限は、4月末頃までが限界とみられています。

【大震災後の今】

シーズでは、現在、新寄付税制&NPO法改正案を早急を実現すべく国会に働きかけるとともに、3月末で期限が切れる認定NPOの特例措置の延長・つなぎを求める活動を展開しています。

（シーズ松原さんの情報から 文責:中村）

子どもNPOリーダー学習・交流・研究会

粉川講座に続く組織の悩み解決講座第2弾！

～ビジョンをどうもてばいいのか～

子ども文化地域コーディネーター養成講座のご案内

日時：2011年4月25日（月）10:00～16:00

場所：千葉市民会館 特別会議室2

参加費：ひとり1,500円

第1部「地域の活動を豊かにする

子ども文化地域コーディネーターとは」

講師 中川幾郎氏

第2部「子どもアートステージファンド」

成果報告会

「ズバリ！組織の悩み解決講座」に次ぐ課題解決として身近な生活圏の地域をどうすればよいかを学び、地域の現場をマネジメントしていくために、具体的でわかりやすいお話をさせていただきます。大勢の皆さんにご参加いただきたい講座です。

2010年度子ども文化地域コーディネーター養成講座5回シリーズのフォローアップ講座です。もちろん初めての方も大歓迎！ご参加お待ちしております。



子ども劇場千葉県センター総会のお知らせ

日時：2011年6月14日（火）

場所：千葉市民会館特別室

午前：嶋村仁志さん（プレパークむさしのプレリーダー）

午後：総会



〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102号

特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

TEL: 043-301-7262 FAX: 043-301-7263 E-mail: kidchiba@lily.ocn.ne.jp